

# 主要公園の管理運営のあり方について

令和2年（2020年）2月

札幌市建設局みどりの推進部



## 目 次

### 『主要公園の管理運営のあり方について』策定の目的と位置付け

|                      |   |
|----------------------|---|
| 1) 本方針策定の背景と目的 ..... | 1 |
| 2) 本方針の位置付け .....    | 6 |

### 主要公園の管理運営のあり方について

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1 管理運営の基本的な考え方 .....    | 9  |
| 2 主要公園の特性評価 .....       | 13 |
| 3 今後の事業展開 .....         | 31 |
| 4 官民連携事業に係る今後の進め方 ..... | 40 |

### (資料編)

|                              |        |
|------------------------------|--------|
| 資料1 主要公園の現況と利用・管理運営の実態 ..... | 資料 1   |
| 資料2 市民認知度調査結果 .....          | 資料 103 |
| 資料3 公園の特性による評価 .....         | 資料 105 |



## 『主要公園の管理運営のあり方について』策定の目的と位置付け

### 1) 本方針策定の背景と目的

#### ●背景-1 公園運営をめぐる近年の国の動向

行政の財政基盤が縮小するこれからの人口減少時代において、公園や緑地等のオープンスペースの魅力を持続的に維持・向上させるためには、空間の特性や活用の可能性に応じて民間企業や市民との協働による管理運営を行うことが求められてきています。

都市公園法及び都市緑地法の改正など、民間活力を活かした緑・オープンスペースの整備・保全・活用を促す法制度が整いつつあり、全国的にも都市公園のマネジメントのための方針を策定し、当該方針に基づいて都市公園の特性等に応じた管理運営を推進する動きが始まっています。

#### ●参考 『都市緑地法等の一部を改正する法律』の概要

##### 都市公園の再生・活性化 【都市公園法等】

- 民間事業者による公共還元型の収益施設（飲食店等）の設置管理制度
- 公園内の PFI 事業に係る設置管理許可期間の延伸 など

##### 緑地・広場の創出 【都市緑地法】

- 緑の担い手として民間主体を指定する制度の拡充
- 民間による市民緑地の整備を促す制度の創設

##### 都市農地の保全・活用 【生産緑地法、都市計画法、建築基準法】

- 生産緑地地区の一律 500 ㎡の面積要件を市区町村が条例で引下げ可能に(300 ㎡を下限)
- 生産緑地内で直売所、農家レストラン棟の設置を可能に
- 新たな用途地域の類型として田園居住地域を創設

地域の公園緑地政策全体のマスタープランの充実 【都市緑地法】  
○緑の基本計画に都市公園の管理の方針を記載

(目標・効果)

民間の活力を最大限に活かして、貴重な緑・オープンスペースの整備・保全・活用を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現

## ●背景-2 札幌市の都市公園に係る課題

札幌市の都市公園は約 6 割が整備後 30 年を経過し、公園施設の老朽化が進んでいます。限られた財源の中で管理の水準を維持するとともに、老朽化の程度に応じて更新を進めていくことが大きな課題となっています。

また、多様な機能を持つ大規模公園や中心部に位置する公園については、今後も増加が期待されるインバウンドの影響もあり、公園本来の機能を保持しながらイベントなどにぎわいの場としての利用を適切に管理することも求められています。

| 施設や植栽の<br>管理水準の維持                                                    | 老朽化施設の<br>適切な更新                                                                           | 公園に対するニーズ<br>の変化への対応                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 限られた財源のなかでの管理水準の維持</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 更新の必要性の高まり（設置から 30 年以上を経過した公園が 6 割を占める）</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 機能再編、付加価値の創出への対応</li><li>・ イベント利用などのにぎわいの場と休憩・散策等の憩いの場の両立</li></ul> |

## ●本方針策定の目的

公園運営をめぐる背景や札幌市の都市公園に係る課題に対応するためには、従来の行政主体による整備や維持管理に加え、新たな管理運営の方法を取り入れる必要があります。

そこで、本方針は、公園の更なる魅力向上や持続的な管理運営に取り組んでいくために、民との連携等も視野に入れた新たな管理運営の方向性を示すことを目的として策定します。

### 「主要公園の管理運営のあり方について」の目的

- 公園を取り巻く様々な課題解決のために、主要公園の更なる魅力向上や持続的な管理運営に取り組む
- 民との連携等も視野に入れた新たな管理運営の方向性を示す

## ●本方針の対象公園

本方針では、下の図表に示す通り、札幌市建設局で所管する総合公園、運動公園、都心部に位置しており利用者の多い公園（大通公園、創成川公園）を主要公園と位置づけ、管理運営方針を定めることとします。

総合公園、運動公園は、いずれも広く市民利用されることを目的として設置された公園です。大型の遊具や運動施設等が設置されるなど市内外から多くの利用者が訪れるため、老朽化の進む施設更新などを含めて更なる魅力向上や持続的な管理運営に取り組む必要性が高く、民との連携等の可能性が高いと考えられるため、新たな取り組みの導入に適した公園であると考えられます。

大通公園及び創成川公園については、都心部に立地し市内外から多くの人が訪れることから、必要な管理運営の考え方を定める必要性が高いと考えられます。

表 主要公園

| 公園種別 |                                       | 主要公園                                                     |
|------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 総合公園 | 休息や鑑賞、散歩、運動などを目的に市民が総合的に利用できる公園       | 中島公園、円山公園、百合が原公園、月寒公園、藻南公園、前田森林公園、平岡公園、モエレ沼公園、川下公園、五天山公園 |
| 運動公園 | 野球場やテニスコート、陸上競技場、プールなどの運動施設が設置されている公園 | 屯田西公園、手稲稲積公園、農試公園<br>（※管理主体が異なる厚別公園を除く）                  |
| 特殊公園 | 自然環境や景観を守ったり、史跡や名勝、動植物に親しむための公園       | 大通公園、創成川公園                                               |



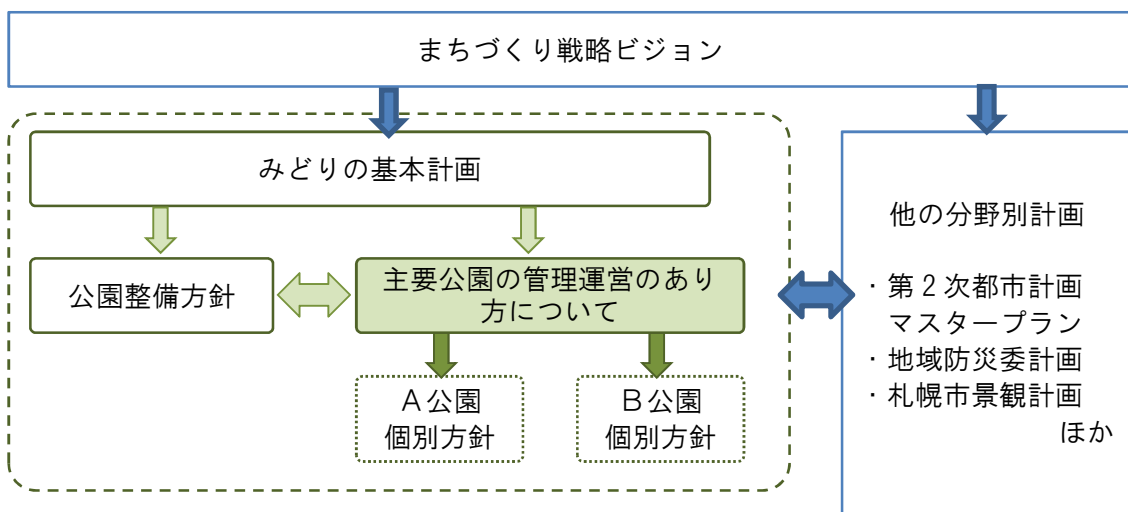


## 2) 本方針の位置付け

### ●位置付け

「主要公園の管理運営のあり方について」は、上位計画である「札幌市みどりの基本計画」との整合を図るほか、そのほかの分野別計画とも整合を図り、主要公園の持続可能な管理運営のための指針として位置づけます。

また、各公園の具体的な将来像や特性に応じた取組みの考え方については、本方針を踏まえた上で、公園ごとに『個別方針』として定めることとします。



### ●方針の見直しについて

上位計画であるみどりの基本計画の計画年次に合わせ、必要に応じて方針の見直しを行います。

## 主要公園の管理運営のあり方について

（本方針の構成）

- 1 管理運営の基本的な考え方
- 2 主要公園の特性評価
- 3 今後の事業展開
- 4 官民連携事業に係る今後の進め方



## ■ 1 管理運営の基本的な考え方

### ● 基本的な考え方

公園運営をめぐる背景や札幌市の都市公園に係る課題を踏まえて、今後、重視すべき視点を整理しました。

公園が持つ本来の機能を大事にしながら、特性に応じた管理運営を行うためにも、本方針では3つの管理運営の基本的な考え方を定めます。

### 1 公園の特性に応じた管理運営を行う

「札幌市みどりの基本計画」では、札幌の「みどりのはたらき」として5つの基本的機能が整理されています。札幌市の主要公園は、木々が多く自然豊かな公園、大型運動施設を有し市民のレクリエーションの場になっている公園など、公園施設や立地状況等に応じた特徴的な機能（特性）を有しています。こうした既存の特性を貴重な資源として捉え、特性を活かすための管理運営の取組みを進めていきます。

#### 環境保全

##### 都市環境、地球環境を保全・改善する

- 二酸化炭素の軽減、水源かん養、大気浄化、ヒートアイランド現象の抑制
- 多様な動植物の生育・生息・移動空間の保全
- みどりのリサイクルの取組みによる、循環型の都市形成

#### 都市景観

##### 札幌らしい景観をつくりだす

- 山並み、河川、草地などによる札幌を特徴づける景観の形成
- 気候・風土に適した樹木や花による、地域ごとの個性的な景観の創出

#### 防災

##### 安全・安心な都市基盤を形成する

- 災害時の避難場所、延焼防止帯としての機能
- 冬季の堆雪場等として快適な冬の暮らしに貢献
- 水源かん養による洪水の調節、騒音や振動の緩和

#### コミュニティ

##### 人々をつなぎ、まちに活力をもたらす

- 公園や緑地、森林での活動を通じたコミュニティの醸造
- みどりを通じたコミュニティによる街の活力・住みやすさの形成

#### 運動・レクリエーション

##### 人々のさまざまな活動の場となる

- スポーツ、レクリエーション、休養、散策などの余暇活動の場
- 園芸活動や自然に親しむライフスタイルを充実させる場
- 自然教育・自然体験などの学習機会の場

## 2 公園の魅力を高める

札幌市の公園は、昭和 50～60 年代頃に設置されたものが多く、公園施設の老朽化が進んでいるほか、利用者のニーズの変化なども認められています。

こうしたことへの対応も含めて、今後も利用者が快適かつ安全安心に公園を利用できるよう、今後もそれぞれの公園が持つ魅力を一層高めていく必要があります。



木道（円山公園）



ライラック花壇（川下公園）



菖蒲池（中島公園）



屋外プール（手稲稲穂公園）



陸上競技場（屯田西公園）



屋内広場（農試公園）



大型イベント（大通公園）



オータムフェスト（創成川公園）



自転車レース（モエレ沼公園）

### 3 持続的な管理運営を行う

財政状況が厳しい中、行政単独で公園の管理運営を進めていくことには限界があります。

そこで、民間資金の活用や多様な主体が公園の管理運営に関わる仕組みをつくるなどして、持続的な公園の管理運営を進めていきます。



東京都豊島区南池袋公園（民間との連携によるカフェ整備・運営）



大阪府大阪市鶴見緑地（民間との連携によるフットサルコート整備・運営）

## ● 基本的な考え方に基づいた取り組みを進める際の重視する視点

平成 28 年 5 月に取りまとめられた『新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について（新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会/国土交通省）』では、都市を取り巻く様々な社会状況の変化に対応した新たな時代の都市をつくる緑とオープンスペースの考え方として、“緑とオープンスペースの多機能性の再認識と都市の特性に応じた発揮”を目指すことの必要性が示されました。

この提言をふまえ、札幌市の主要公園の管理運営にあたっては、これからの時代に重視すべき視点を以下のように定めます。

| 国土交通省提言         | 札幌市の視点 | 概要                                                                                                                                                                             |
|-----------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ストック効果をより高める    | のぼす    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●都市公園が「ストック効果（水と緑の保全、防災性等）」を十分に発揮するよう、公園の特性を活かした管理運営を推進</li> <li>●個々の公園の特性・資源を活かしながら多機能性を発揮</li> </ul>                                  |
| 民との連携を加速する      | つなぐ    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●公園の管理運営へ「民（企業・住民組織・まちづくり団体等）」の力を導入することによる、民間の活動領域の拡大と経済合理性の発揮</li> <li>●民間の資源（公園周辺の広場や公開空地等）との結びつきの強化による、回遊性の発揮と質の高い都市空間の創出</li> </ul> |
| 都市公園を一層柔軟に使いこなす | つかう    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●公園固有のポテンシャルに応じた柔軟な活用の推進</li> <li>●柔軟な公園活用を促進するための既存のルールを最大限活用</li> </ul>                                                               |

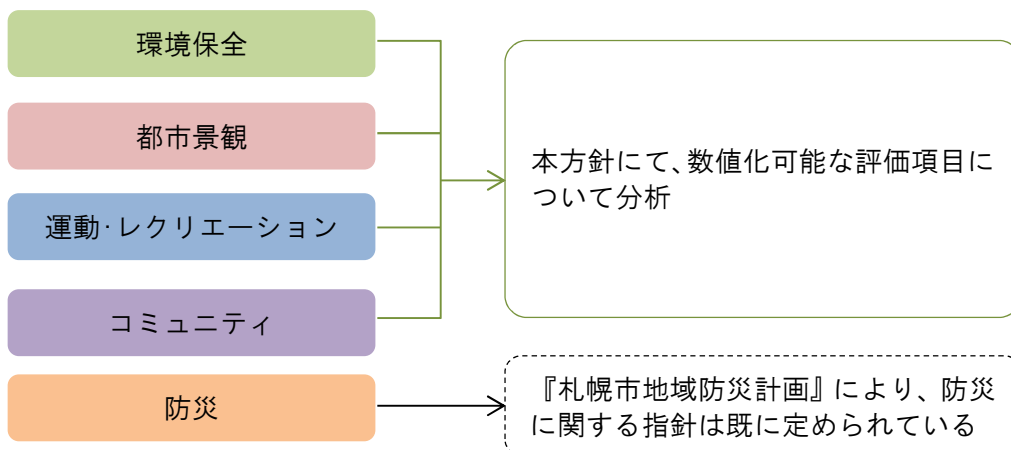


## ■ 2 主要公園の特性評価

### ● 基本的機能の把握

「札幌市みどりの基本計画」にて示されている5つの「みどりのはたらき」を『みどりの基本的機能』と捉え、既に札幌市として方針が定まっている「防災」を除く4つの機能について把握します。

【みどりの基本的機能】

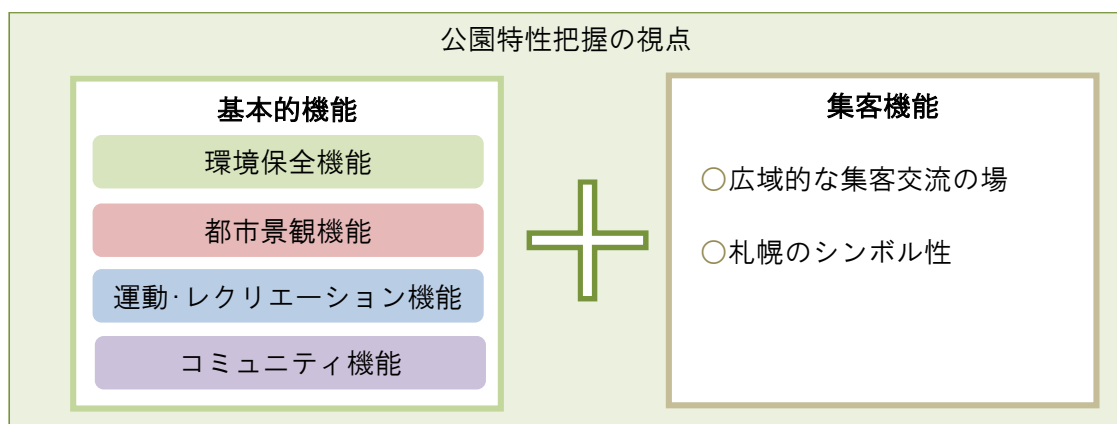


### ● 集客機能をふまえた検討の必要性

札幌市の主要公園には、多くの観光客が訪れる公園や、主に市民の憩い・レクリエーションの場として利用される公園など、様々な公園があります。

主要公園の管理運営の基本方針を検討する際には、前項で示した基本的機能の特性に加えて、集客状況や札幌市のシンボル性といった集客機能についても考慮する必要があります。また、民間の資金やノウハウの導入を検討する際にも、集客機能を把握し、持続的な事業成立の可否を判断する必要があります。

こうしたことから、集客機能についても考慮した上で、各公園の特性を把握することとします。



## ●公園の機能分析

都市公園は様々な要素から成り立っており、全ての要素を分析することは困難であることから、本方針では数値化可能な評価要素を下表の通り設定し、主要公園ごとの機能の程度を分析することで公園の大まかな特性を整理します。

| 機能    |               | 評価指標                 |
|-------|---------------|----------------------|
| 基本的機能 | 環境保全機能        | ● 樹林樹木面積             |
|       |               | ● 水面面積               |
|       | 都市景観機能        | ● ランドマーク・特色ある植栽の有無   |
|       |               | ● 景観要素               |
|       |               | ● 利用届件数(写真撮影)        |
|       | 運動・レクリエーション機能 | ● スポーツ・健康関連施設の有無     |
|       |               | ● 子どもの遊び場の有無         |
|       |               | ● レクリエーション・文化関連施設の有無 |
|       | コミュニティ機能      | ● 地域団体数              |
|       |               | ● 自主事業イベント数          |
|       |               | ● 利用届件数(遠足・校外学習)     |
|       | 集客機能          | ● 自主事業外イベント数         |
|       |               | ● 駐車場台数              |
|       |               | ● 立地条件               |
|       |               | ● 市民認知度              |
|       |               | ● 広場・逍遥地としての利用年数     |

## ●分析結果

分析にあたっては、主要 15 公園毎に前項の評価指標をそれぞれ 5 段階で点数化し、機能毎の合計点の偏差値から各公園の機能を分析しました。下表は、その結果を視覚的にわかりやすくするため、各機能の特性の高低を「\*」の数で示したものです。

主要 15 公園は、基本的機能が元々高い公園であると考えられるため、「\*」の多さは主要 15 公園の中でも特に特徴的な機能と見なすことができます。

この結果が示すとおり、それぞれの公園の特性は異なっており、こうした特性に応じた管理運営の方針を定める必要があります。

また、この結果は 15 公園のおおまかな特性を評価したものであり、この表だけでは捉えきれない特徴もあると思われます。このため、主要 15 公園毎に個別の管理運営方針（個別方針）が必要であり、個別方針を定める際には周辺の状況や地域ニーズ、民間活力導入の可能性などにも十分に配慮した上で、定めることとします。

表 分析結果

| 機能<br>公園名 |        | 基本的機能 |      |             |        | 集客機能 |
|-----------|--------|-------|------|-------------|--------|------|
|           |        | 環境保全  | 都市景観 | 運動・レクリエーション | コミュニティ |      |
| 特殊公園      | 大通公園   | **    | **** | **          | ***    | **** |
|           | 創成川公園  | *     | ***  | *           | **     | ***  |
| 総合公園      | 中島公園   | ***   | **** | ****        | **     | **** |
|           | 円山公園   | ***   | ***  | ***         | **     | ***  |
|           | 月寒公園   | ***   | **   | ***         | ****   | ***  |
|           | モエレ沼公園 | *     | **** | **          | ***    | ***  |
|           | 百合が原公園 | **    | ***  | **          | ***    | **   |
|           | 藻南公園   | ***   | **   | **          | **     | **   |
|           | 前田森林公園 | ***   | ***  | **          | ***    | **   |
|           | 平岡公園   | ****  | **   | **          | ****   | **   |
|           | 川下公園   | **    | *    | ***         | **     | **   |
|           | 五天山公園  | **    | **   | **          | **     | **   |
| 運動公園      | 屯田西公園  | *     | *    | ***         | **     | **   |
|           | 手稲稲積公園 | **    | **   | ***         | **     | **   |
|           | 農試公園   | **    | *    | ****        | ***    | **   |

基本的機能    \*\*\*\* :  $15 \geq x \geq 12$  / \*\*\* :  $12 > x \geq 9$  / \*\* :  $9 > x \geq 6$  / \* :  $6 > x \geq 3$

集客機能        \*\*\*\* :  $25 \geq x \geq 20$  / \*\*\* :  $20 > x \geq 15$  / \*\* :  $15 > x \geq 10$  / \* :  $10 > x \geq 5$

(※x は各公園の評価ポイント)

| 機能分析結果              |                          | 概略                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能               | <b>環境保全</b><br>**        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 札幌の中心にありながら緑被率は81.8%と高い。多くの樹木があり、都心の貴重なみどりの資源となっている。</li> <li>● 噴水など、都心に潤いを与える水資源も有する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                     | <b>都市景観</b><br>****      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光資源でもあるテレビ塔を固有のランドマークとして保有。</li> <li>● 手稲山への遠景、整然とした見通しのよい街並みという札幌独自の都市景を景観要素として有する。</li> <li>● 札幌を象徴する観光名所でもあり、写真撮影等での利用頻度が非常に高い。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                     | <b>運動・レクリエーション</b><br>** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 遊具広場や遊水路など、都心で子どもが外遊びを楽しめる貴重なストックの存在</li> <li>● 観光資源であるテレビ塔の存在</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                     | <b>コミュニティ</b><br>***     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガイドボランティア、バラ花壇ボランティア、大通花壇ボランティア、大通公園花壇維持管理ボランティアといった、公園に関わる市民団体の存在</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <b>集客機能</b><br>**** |                          | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 都心に位置し、市内外からのアクセシビリティが非常に高い。</li> <li>● 街区ごとのまとまった広場、幅のある園路、西6丁目街区のステージなどを利用し、オータムフェストや雪まつりなど、市内外から多くの人が訪れる大規模イベントが年間を通じて行われ、集客交流の場としてのポテンシャルが非常に高い。</li> </ul>  <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開拓判官島義勇により南北の基軸として定められ、南北を分ける火防線として整備されたのち、1909年に長岡安平により逍遙地として設計された。市民の多様な活動の場として使われてきた歴史を有する。</li> <li>● 市民認知度は98.6%と、主要公園のなかで最も高い。</li> </ul>  <p>1909年(明治42年)の大通公園<br/>(札幌市文化資料館蔵)</p> |

| 機能分析結果             |                         | 概略                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能              | <b>環境保全</b><br>*        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は67.3%、創成川の水辺、川沿いの芝など、都心に潤いを与える水とみどりの資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                    | <b>都市景観</b><br>***      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 札幌固有の観光資源であるテレビ塔への近景、現代アート作品、札幌の歴史を感じる創成橋などを固有のランドマークとして保有</li> <li>● 整然とした見通しのよい街並みという札幌独自の都市景を景観要素として有する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                    | <b>運動・レクリエーション</b><br>* | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                    | <b>コミュニティ</b><br>**     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 植物ボランティア、お助け隊、狸二条広場運営協議会といった、公園に関わる市民団体の存在</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>集客機能</b><br>*** |                         | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 都心に位置し、市内外からのアクセス性が非常に高い。</li> <li>● 狸二条広場等を利用した自主事業外イベントの実施数が大通公園・中島公園に次いで多く、集客交流の場としてのポテンシャルが高い。</li> </ul>  <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 札幌村開墾のため作られた大友掘が、開拓判官島義勇により東西の基軸として定められた。また、明治時代から1950年代まではさっぽろ祭りの見世物小屋が置かれるなど、古くから市民に親しまれてきた歴史を有する。</li> </ul>  |

| 機能分析結果              |                            | 概略                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                |
|---------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能               | <b>環境保全</b><br>***         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園面積 236,295 m<sup>2</sup> に対し、緑被率 64.9% を占め、都心部における貴重なみどりの資源となっている。</li> <li>● 菖蒲池、鴨々川といった潤いを感じる水資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                             |
|                     | <b>都市景観</b><br>****        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊平館、八窓庵、Kitara 等、札幌の歴史的資産、文化資産を固有のランドマークとして保有</li> <li>● 菖蒲池・鴨々川といった水景を景観要素として有する。</li> <li>● 固有の雰囲気、景観を活かし、写真撮影等の利用頻度が非常に高い。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                             |
|                     | <b>運動・レクリエーション</b><br>**** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育センター、テニスコート、歩くスキーコース等、四季を通じた健康・スポーツの場としての利用を支えるストックの存在</li> <li>● 遊戯広場、児童会館、人形劇場等、近隣、全市的な児童の来訪、活動を支えるストックの存在</li> <li>● Kitara、文学館、豊平館、ボートといった市民のレクリエーションや文化芸術活動・体験を生み出すストックの存在</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                             |
|                     | <b>コミュニティ</b><br>**        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園管理者、園内主要施設管理者、周辺企業等から成る情報共有・連携の場である『中島公園地域コミュニティ推進協議会』の存在</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                           |
| <b>集客機能</b><br>**** |                            | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 都心に隣接し、アクセス性が高い。</li> <li>● 自由広場、北口広場、園路等を有し、さっぽろ祭りをはじめ、年間の自主事業外イベント数が大通公園に次いで高く、催事を通じた札幌市民の交流の場としてのポテンシャルが非常に高い。</li> <li>● Kitara、体育センター、人形劇場等、集客交流を支えるストックの存在</li> </ul> <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1907年に長岡安平により池の水景、藻岩山への眺望を活かし、自然の風致を織り込んだ「池泉式回遊式庭園」として設計され、その後、遊園地、博覧会会場等、様々な活用を通じて札幌ともに歩んだ歴史を有する</li> <li>● 様々な変遷を経ながらの広場・逍遙地としての利用年数が長く、市民認知度が高い。</li> </ul> | <br> |

| 機能分析結果             |                           | 概略                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能              | <b>環境保全</b><br>***        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 77.2%、天然記念物に指定されている円山原始林をはじめ、非常に豊かなみどりの資源を有する。</li> <li>● 池、円山川といった水資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                                                      |
|                    | <b>都市景観</b><br>***        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 原生林、桜の木といった植栽を固有のランドマークとして保有</li> <li>● 円山の近景、池や円山川の水景を景観要素として有する。</li> <li>● みどり豊かな景観を活かし、写真撮影等の利用頻度が高い。</li> </ul>                                                                                                                             |
|                    | <b>運動・レクリエーション</b><br>*** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 円山競技場、円山球場、軟式テニスコート、円山遊歩道、木道など、札幌市民の健康・スポーツ活動を支える多くのストックの存在</li> <li>● 市内外から多くの人々が訪れる円山動物園など、市民のレクリエーションを支えるストックの存在</li> <li>● 遊具広場、遊水路、児童会館など子どもたちの豊かな遊びを支えるストックの存在</li> </ul>                                                                 |
|                    | <b>コミュニティ</b><br>**       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 植物管理ボランティア、オオオハンゴンソウ駆除ボランティアといった、公園に関わる市民団体の存在</li> <li>● 管理事務所に併設された円山パークハウや豊かな自然環境を活かした自主事業イベントの実施数が多い。</li> </ul>                                                                                                                           |
| <b>集客機能</b><br>*** |                           | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中心部からほど近く、地下鉄駅に隣接するなどアクセス性が高い。</li> </ul> <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1909 年に長岡安平により設計された。後に各種スポーツ施設や動物園などが整備され、市民のレクリエーションの場として利用されてきた歴史を持つ。</li> <li>● 市民認知度は大通公園、中島公園に次いで高い。</li> </ul>  |



| 機能分析結果             |                           | 概略                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                       |
|--------------------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能              | <b>環境保全</b><br>***        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 87.7%、そのうち樹林樹木の割合が高く、豊かなみどりの資源を有する。</li> <li>● ボート池、望月寒川といった豊かな水資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                         |    |
|                    | <b>都市景観</b><br>**         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ボート池、望月寒川といった潤いを感じられる水景を景観要素として有する。</li> </ul>                                                                                                                                                                  |    |
|                    | <b>運動・レクリエーション</b><br>*** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、テニスコート、スキー山など、札幌市民の健康・スポーツ活動を支えるストックの存在</li> <li>● 森の遊び場、ロング滑り台など、子どもたちの豊かな遊びを支えるストックの存在</li> <li>● レクリエーション施設としてのボート池の存在</li> </ul>                                                                        |    |
|                    | <b>コミュニティ</b><br>****     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民協議会、月寒公園ファンクラブ、豊平区ボランティア連絡会といった、公園に関わる市民団体の存在</li> <li>● ノルディックウォーキング講習会、星空観察会など、自主事業イベントの実施数が多い。</li> <li>● 遠足・校外学習での利用届件数は主要公園のなかで最も多い。</li> </ul>                                                          |  |
| <b>集客機能</b><br>*** |                           | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 都心以外の主要公園に比べると札幌駅からの距離が短く、地下鉄駅にも近接しており、アクセス性が高い。</li> </ul> <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 明治末期には演習場として使用されていた歴史を持ち、記念碑等も多い。昭和 36 年、旧豊平村との合併時に開設された。</li> </ul> |  |



| 機能分析結果             |                          | 概略                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                |
|--------------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能              | <b>環境保全</b><br>*         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 104ha の広大な敷地の緑被率は 77.5%、大半が草地に覆われている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                             |
|                    | <b>都市景観</b><br>****      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● イサム・ノグチの設計した公園全体が彫刻であり、ガラスのピラミッドをはじめとする固有のランドマークを数多く保有</li> <li>● モエレ山の地景、モエレ沼などの水景を景観要素として有する。</li> <li>● 独特の景観を活かし、写真撮影等の利用頻度が非常に高い。</li> </ul>                                                                                                                                                              |                                                                                             |
|                    | <b>運動・レクリエーション</b><br>** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、陸上競技場、テニスコートなど、市民の健康・スポーツ活動を支えるストックの存在</li> <li>● 多くの遊具があるサクラの森、モエレビーチといった子どもの豊かな遊びを支えるストックの存在</li> </ul>                                                                                                                                                                                                  |                                                                                            |
|                    | <b>コミュニティ</b><br>***     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● モエレ沼公園ファンクラブ、モイレ HIDAMARI といった公園に関わる市民団体の存在</li> <li>● 自然観察会など自主事業イベントの実施数が多い。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                           |
| <b>集客機能</b><br>*** |                          | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 札幌市中心部からの距離はあるが、駐車可能台数は 1500 台と主要公園のなかで最も多く、車両によるアクセス性が高い。</li> <li>● 屋内施設（ガラスのピラミッド）等を利用した美術・音楽イベント、広い園路を利用したスポーツイベント等が年間を通して多く行われており、集客交流の場としてのポテンシャルが非常に高い。</li> </ul> <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民認知度は 72.9% で、中心部にある大通公園・中島公園・円山公園に次いで高い。</li> </ul> | <br> |

| 機能分析結果            |                          | 概略                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                       |
|-------------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能             | <b>環境保全</b><br>**        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は71.2%、樹林樹木と草地在大半を占める。</li> <li>● 噴水、池といった水資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                                         |    |
|                   | <b>都市景観</b><br>***       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界の百合園、ロックガーデンなどの各種花壇のほか、サイロ展望台やリリートレインといった固有のランドマークを保有</li> <li>● 百合園内の池などの水景を景観要素として有する。</li> <li>● 多彩な花壇などの景観を活かし、写真撮影等の利用頻度が高い。</li> </ul>                                                           |    |
|                   | <b>運動・レクリエーション</b><br>** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● バasketコート、ゲートボール場など、市民の健康・スポーツ活動を支えるストックの存在</li> <li>● レクリエーション施設としてのリリートレインの存在</li> </ul>                                                                                                               |   |
|                   | <b>コミュニティ</b><br>***     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 温室管理やバラの手入れ、花壇管理、公園ガイドといった、公園に関わる市民団体の存在</li> <li>● 屋内施設（温室）を利用した緑の講習会・展示会、北区役所と連携した地域のお祭りなど、自主事業イベントの実施数が多い。</li> </ul>                                                                                 |  |
| <b>集客機能</b><br>** |                          | <b>【広域的な集客交流の場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市中心部から距離があり、駐車場台数も多くはない。</li> </ul> <b>【札幌のシンボル性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和天皇陛下御在位 50 周年事業の記念広場として世界の百合広場が造成されたのち、公園として整備され、公園を中心として地域が発展してきた歴史を持つ。</li> </ul> |                                                                                       |

| 機能分析結果            |                          | 概略                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                      |
|-------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能             | <b>環境保全</b><br>***       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 83.0%、豊平川を挟んだ両岸には樹木が多く、豊かなみどりの資源を有する。</li> <li>● 豊平川、南の沢川の豊かな水資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                                     |   |
|                   | <b>都市景観</b><br>**        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 石山軟石採掘場跡を固有のランドマークとして保有</li> <li>● 豊平川や南の沢川の水景、切り立った崖線の地景を景観要素として有する。</li> </ul>                                                                                                                                          |   |
|                   | <b>運動・レクリエーション</b><br>** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、テニスコート、パーク・パットゴルフ場など、規模は小さいが市民の健康・スポーツ活動を支えるストックの存在</li> <li>● 遊具広場・炊事広場など市民のレクリエーションや子どもの遊びを支えるストックの存在</li> </ul>                                                                                                    |  |
|                   | <b>コミュニティ</b><br>**      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 遠足・校外学習での公園利用届件数は、月寒公園に次いで多い。</li> </ul>                                                                                                                                                                                  |                                                                                      |
| <b>集客機能</b><br>** |                          | <b>【広域的な集客交流の場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市中心部から距離があり、駐車場台数も多くはない。</li> </ul> <b>【札幌のシンボル性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1949 年、札幌軟石の石切場跡に開園した。豊平川河床や崖、札幌軟石の石切場跡は「北海道地質百選」に、石切場跡の伝説“おいらん渚”は「さっぽろ・ふるさと文化百選」にも選定されている。</li> </ul> |                                                                                      |

| 機能分析結果            |                          | 概略                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                       |
|-------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能             | <b>環境保全</b><br>***       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 85.6%、樹林樹木の割合が高く、豊かなみどりの資源を有する。</li> <li>● カナールなどの豊かな水資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                              |    |
|                   | <b>都市景観</b><br>***       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手稲山に向かって伸びる 600mのカナールと両側に立つポプラ並木を固有のランドマークとして保有</li> <li>● 手稲山への遠景、湿地ビオトープなどの水景を景観要素として有する。</li> <li>● 独特の景観を活かし、写真撮影等の利用頻度が高い。</li> </ul>                                                                 |    |
|                   | <b>運動・レクリエーション</b><br>** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、サッカー場、パーク・パットゴルフ場など、市民の健康・スポーツ活動を支えるストックの存在</li> <li>● 市民のレクリエーションを支える炊事広場の存在</li> </ul>                                                                                                               |   |
|                   | <b>コミュニティ</b><br>***     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前田森林公園凸凹クラブ、手稲森林パークゴルフ同好会といった公園に関わる市民団体の存在</li> <li>● 市民団体と連携した自然観察会や工作コーナーの運営など、自主事業イベントの実施数が非常に多い。</li> </ul>                                                                                            |  |
| <b>集客機能</b><br>** |                          | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市中心部からの距離はあるが、駐車可能台数が多く、車両でのアクセス性が比較的高い。</li> </ul> <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「環状夢のグリーンベルト構想」の拠点公園のひとつとして何も無いところから「森林」が作りだされ、10年間かけて造成された。</li> </ul> |                                                                                       |

| 機能分析結果             |                           | 概略                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                       |
|--------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能              | <b>環境保全</b><br>＊ ＊ ＊ ＊    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 97.8%、樹林樹木面積が主要公園の中で最も大きく、非常に豊かなみどりの資源を有する。</li> <li>● 湿地、三里川などの豊かな水資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                         |    |
|                    | <b>都市景観</b><br>＊ ＊        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 約 1200 本の梅林を固有のランドマークとして保有</li> <li>● 湿地や三里川などの水景を景観要素として有する。</li> </ul>                                                                                                                                            |    |
|                    | <b>運動・レクリエーション</b><br>＊ ＊ | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、テニスコート、パーク・バットゴルフ場、歩くスキーコースなど、市民の健康・スポーツ活動を支えるストックの存在</li> <li>● 子どもの遊びを支える遊具広場の存在</li> </ul>                                                                                                                   |   |
|                    | <b>コミュニティ</b><br>＊ ＊ ＊ ＊  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平岡どんぐりの森、平岡公園梅ボランティア、平岡公園パークゴルフ同好会といった公園に関わる市民団体の存在</li> <li>● 公園ツアーや地域の祭りなど、自主事業イベントの実施数が非常に多い。</li> </ul>                                                                                                         |  |
| <b>集客機能</b><br>＊ ＊ |                           | <b>【広域的な集客交流の場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市中心部からの距離はあるが、駐車可能台数が多く、車両でのアクセス性が比較的高い。</li> </ul> <b>【札幌のシンボル性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● かつては里山として炭焼きが行われていた土地であったが、「環状夢のグリーンベルト構想」の拠点公園のひとつとして昭和 57 年から整備された。</li> </ul> |                                                                                       |

| 機能分析結果            |                           | 概略                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能             | <b>環境保全</b><br>**         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 80.7%、草地と樹林樹木がおおよそ半々の割合となっている。</li> <li>● カナール、池などの水資源を有する。</li> </ul>                                                                                                                 |
|                   | <b>都市景観</b><br>*          | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 園内に 1700 本植えられているライラックを固有のランドマークとして保有</li> </ul>                                                                                                                                            |
|                   | <b>運動・レクリエーション</b><br>*** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、テニスコート、プール、スキー山、歩くスキーコースなど、市民の健康・スポーツ活動を支える多くのストックの存在</li> <li>● 遊具広場、リラックスプラザ内の屋内広場など、子どもの豊かな遊び場を支えるストックの存在</li> <li>● ピクニック広場、リラックスプラザ内の浴室や健康歩道など、市民のレクリエーションを支えるストックの存在</li> </ul>  |
|                   | <b>コミュニティ</b><br>**       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ライラックの管理や講習会のサポートを行う市民団体「リララ」の存在</li> <li>● 指定管理者を中心としたプレーパークやサマーフェスティバル、パークゴルフ大会などの自主事業イベントが年行われている。</li> </ul>                                                                          |
| <b>集客機能</b><br>** |                           | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市中心部から距離があり、駐車場台数も多くはない。</li> </ul> <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 11 年に開園した。</li> </ul>                                                                                                                                    |

| 機能分析結果            |                          | 概略                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能             | <b>環境保全</b><br>**        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 83.9%。樹形が小さいため樹林樹木面積は少なく、草地が大半を占める。</li> <li>● 池、ホタルの小川といった水資源を有する。</li> </ul>                                   |
|                   | <b>都市景観</b><br>**        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特色ある五天山の近景、ホタルの小川や池の水景を景観要素として有する。</li> </ul>                                                                         |
|                   | <b>運動・レクリエーション</b><br>** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 球技広場、テニスコート、バスケットコートなど、市民の健康・スポーツ活動を支えるストックの存在</li> <li>● 遊具広場、炊事広場など、市民のレクリエーション活動や子どもの豊かな遊びを支えるストックの存在</li> </ul>  |
|                   | <b>コミュニティ</b><br>**      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● NPO 法人西区ホタルの会の存在</li> <li>● ホタル観賞会や星空観測会などの自主事業イベントが行われている。</li> </ul>                                              |
| <b>集客機能</b><br>** |                          | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市中心部から距離があり、駐車場台数も多くはない。</li> </ul> <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 21 年、採石場の跡地に造成された。</li> </ul>                                                      |



| 機能分析結果            |                           | 概略                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                              |
|-------------------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能             | <b>環境保全</b><br>*          | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 78.9%、樹林樹木と草地の割合がおおよそ半々となっている。</li> </ul>                                                                                                            |                                                                                           |
|                   | <b>都市景観</b><br>*          | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園に隣接して、大正期に整備され地域のシンボルとなっている屯田防風林を有する。</li> </ul>                                                                                                        |                                                                                           |
|                   | <b>運動・レクリエーション</b><br>*** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、陸上競技場、テニスコート、室内プールなど、市民の健康・スポーツ活動を支える多くのストックの存在</li> <li>● 遊戯広場や遊水プール、ウォータースライダーなど、子どもの豊かな遊びを支えるストックの存在</li> </ul>                                    | <br> |
|                   | <b>コミュニティ</b><br>**       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 花壇づくりやテニススクール、プレーパークなどの自主事業イベントが行われている。</li> </ul>                                                                                                        |                                                                                         |
| <b>集客機能</b><br>** |                           | <p>【広域的な集客交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市中心部から距離があり、駐車場台数も多くはない。</li> </ul> <p>【札幌のシンボル性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和 50 年、札幌で最初の運動公園として整備された。</li> </ul> |                                                                                                                                                                              |



| 機能分析結果            |                           | 概略                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                             |
|-------------------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能             | <b>環境保全</b><br>**         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 54.0%、樹林樹木と草地がおおよそ半々の割合となっている。</li> </ul>                                                                                                                                                                             |                                                                                          |
|                   | <b>都市景観</b><br>**         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雄大な手稲山を一望できる地景を景観要素として有する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                      |                                                                                          |
|                   | <b>運動・レクリエーション</b><br>*** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、20 面あるテニスコート、パーク・パットゴルフ場など、市民の健康・スポーツ活動を支える多くのストックの存在</li> <li>● 夏には多くの市民でにぎわう、レクリエーション施設としてのていねプールの存在</li> </ul>                                                                                                      | <br> |
|                   | <b>コミュニティ</b><br>**       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● パークゴルフ手稲同好会の存在</li> <li>● テニスやノルディックウォーキングの講習会などの自主事業イベントが行われている。</li> </ul>                                                                                                                                               |                                                                                        |
| <b>集客機能</b><br>** |                           | <b>【広域的な集客交流の場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中心部からの距離はあるが、JR 駅に隣接しているほか、駐車可能台数が主要公園のなかではモエレ沼公園に次いで多く、アクセス性が比較的高い。</li> </ul> <b>【札幌のシンボル性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昭和 56 年開園、翌年にはていねプールもオープンし、市民のスポーツ拠点となってきた歴史をもつ。</li> </ul> |                                                                                                                                                                             |

| 機能分析結果            |                            | 概略                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                |
|-------------------|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的機能             | <b>環境保全</b><br>**          | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 緑被率は 73.1%、草地の割合が高い。</li> </ul>                                                                                                                                                                            |                                                                                             |
|                   | <b>都市景観</b><br>*           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 約 250 本の桜の木々を固有のランドマークとして保有</li> </ul>                                                                                                                                                                     |                                                                                             |
|                   | <b>運動・レクリエーション</b><br>**** | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 野球場、テニスコート、ゲートボール場、ツインキャップ内の屋内広場、歩くスキーコースなど、年間を通じて市民の健康・スポーツ活動を支える多くのストックの存在</li> <li>● トンカチ広場、交通コーナー（自転車コーナー）、ちゃぶちやぶ池など、子どもの豊かな遊びを支えるストックの存在</li> <li>● レクリエーション施設としての、ツインキャップ内の屋内広場やサンルームの存在</li> </ul>  | <br>   |
|                   | <b>コミュニティ</b><br>***       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農試ペタンク同好会、ゲートボール愛好会、公園ボランティア「カボック」、「農試公園であそぶか〜い」、といった公園に関わる市民団体の存在</li> <li>● 季節ごとの祭りやプレーパークなど、自主事業イベントの実施数が非常に多い。</li> </ul>                                                                              | <br> |
| <b>集客機能</b><br>** |                            | <b>【広域的な集客交流の場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主要公園のなかでは中心部から比較的近い距離にあるが、公共交通の駅には近接しておらず、駐車可能台数も多くはない。</li> </ul> <b>【札幌のシンボル性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 北海道立農業試験場跡地に地区公園として整備されたのち、平成 4 年に運動公園に変更された。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                |

### ■ 3 今後の事業展開

#### ● 個別方針の作成

個別方針の作成にあたっては、本方針で示した基本的な考え方や各公園の特性などの内容を反映させることが望まれます。

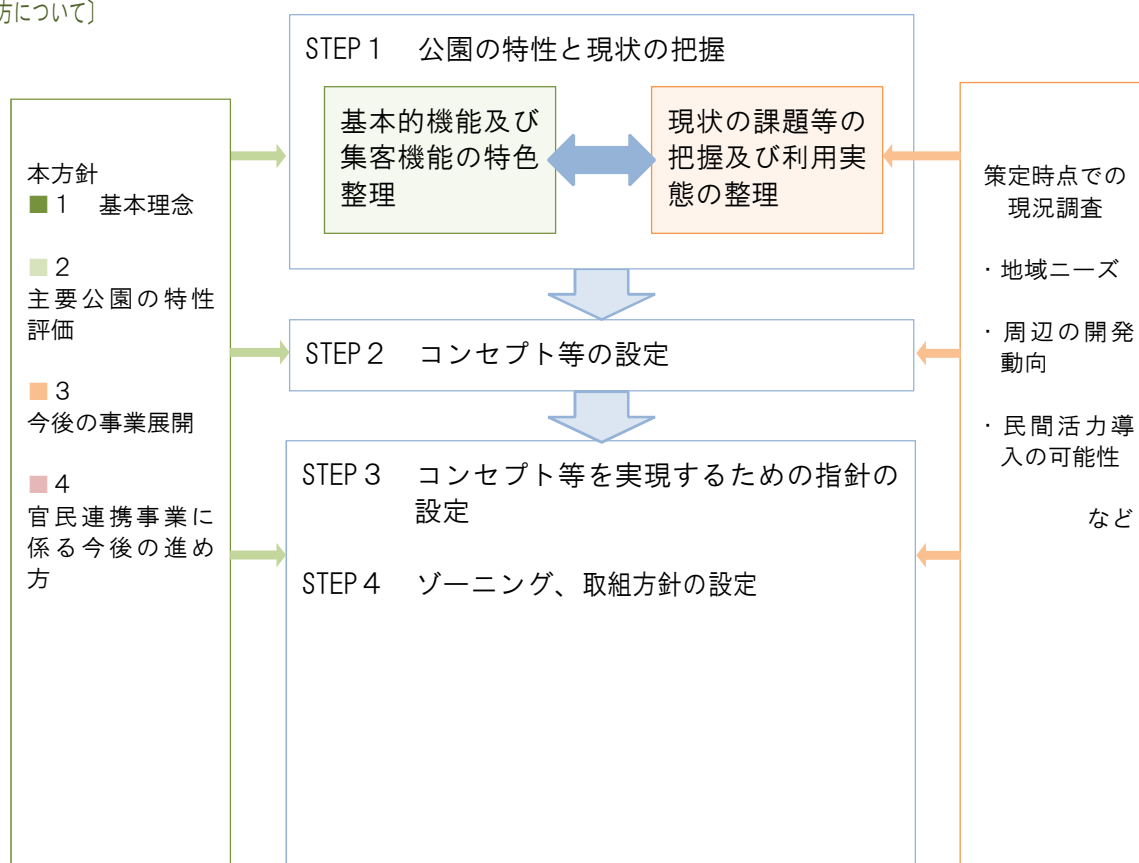
また、個別方針を実現性の高いものとするため、策定する時点での公園の状況や課題等を踏まえることが重要であり、地域ニーズや周辺の開発動向、民間活力導入の可能性なども盛り込んだ上で作成することが望まれます。

個別方針は、本方針で示す主要公園の管理運営のあり方に基づき、公園のコンセプト等を多様な主体と共有するためのツールとしても活用します。

〔主要公園の管理運営のあり方について〕

〔個別方針〕

〔検討材料〕

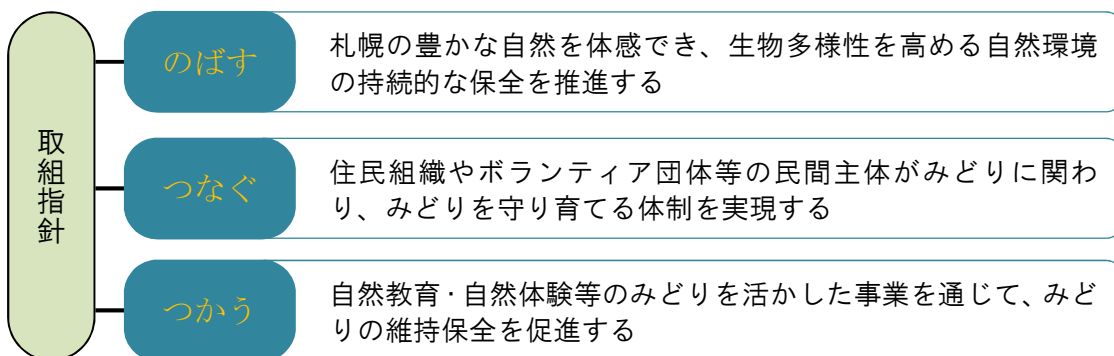


## ●特性に応じた活用の考え方

具体的な施策については、個別方針で示す公園毎の特性に応じた方向性に基づき検討しますが、基本的機能を活かすための指針及び具体的な事業例を示します。

### 1) 環境保全機能を活かすための取組指針と事業例

札幌市の都市環境の改善や札幌らしい自然景観を作り出す特性を活かすための事業内容について例示します。



#### 環境保全機能を活かす事業例

##### ソフト事業

##### 【札幌の自然を体感できるプログラム】

樹林地や湿地などの公園内にある豊かな自然の魅力を体感し、環境を守り育てる意識を醸成できるようなプログラムの充実

例) プレーパーク、エコツアー、素材加工のワークショップなど



##### ハード事業

##### 【豊かな自然を体感できる場づくり】

ワークショップや環境学習ができるような機能を強化するなど、ソフト事業を支える環境の整備

例) 既存施設の強化、老朽化した木道の改修、湿地の保全など



### ●コラム プレーパーク

プレーパークは、大人が子どもの遊びを見守ることで、子どもが自由な発想で遊びを展開できる機会や場所をつくる活動です。

札幌市では、次代を担うさっぽろの子どもの自主性、創造性、協調性を育むことを目的に、既存の公園等において地域住民等が主体的に開催・運営を行う、プレーパークを推進しています。



### ●コラム エコツアー

自然を観察したり体験しながらその仕組みを学んだり、生き物や自然環境を保護する活動に参加したり、昔の貴重な遺跡を知り、それを大切に守ったりする、自然にやさしい旅行や、地球と仲良くする旅行のことをエコツアーといいます。

札幌市内でも、近郊の山や湿地・公園などにおいてハイキングやトレッキングを行う夏のツアーや、スノーシューを履いて冬の野山を散策するツアーなどが複数の民間会社により企画・運営されています。



### ●事例紹介 アースデイマーケット（東京都／代々木公園けやき並木など）

東京の都心部において、生産者と消費者のつながりを育むとともに、環境への意識向上・社会貢献の実践をコンセプトに展開されるマーケットイベントです。

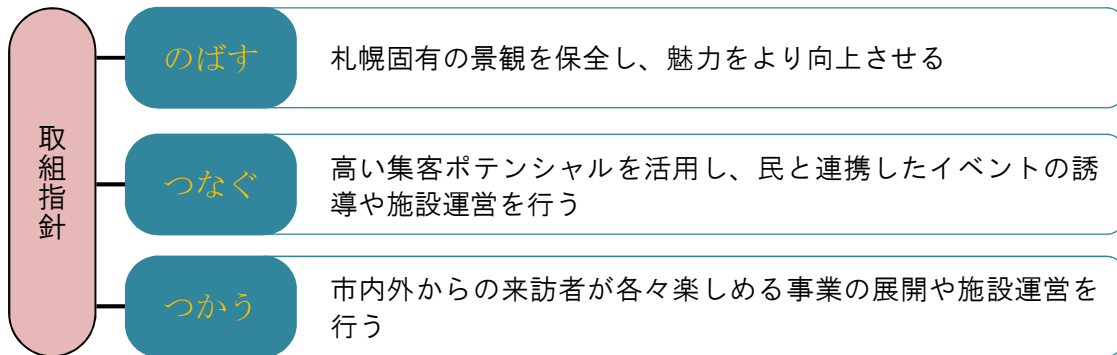
アースデイマナー「r（アール）」を発行し、会場内で行う資源回収への協力、会場設営等への参加の対価として「r」をプレゼントしています。

代々木公園のほか、日比谷公園、芝公園等の都内主要公園では使用許可によって運営されています。



## 2) 都市景観機能を活かすための取組指針と事業例

札幌市の歴史や文化を体感できる都市景観機能を活かすための事業内容について例示します。



### 都市景観機能を活かす事業例

#### ソフト事業

##### 【都市景観をより楽しめるプログラム】

公園を訪れることでみることができる札幌の都市景観をより楽しめる事業の展開

例) 公園みどころ探訪ツアー、ライトアップ事業など



#### ハード事業

##### 【札幌の魅力を体感できる場づくり】

札幌の景観を体感できる場づくりと公園施設の強化

例) 景観を楽しむカフェやレストラン等の設置



提供：福岡市



●事例紹介 Bryant Park Yoga（ニューヨーク市／ブライアントパーク）

ニューヨーク市マンハッタン区は PPP 事業の一手法である BID（Business Improvement District）の導入が盛んです。ブライアントパークはその一つで、官民連携による公園の魅力向上に向けた取組を推進しています。

Bryant Park Yoga は BID によるエリアのブランディング事業の一環で行われている健康イベントで、毎週、火曜朝と木曜夕方に開催されます。固有の景観を望みながら参加できるイベントとして定着し、年間 4000 人のリピーターが訪れています。



©pixabay



©flickr by Sean Savage

●事例紹介 梅小路公園（京都市）

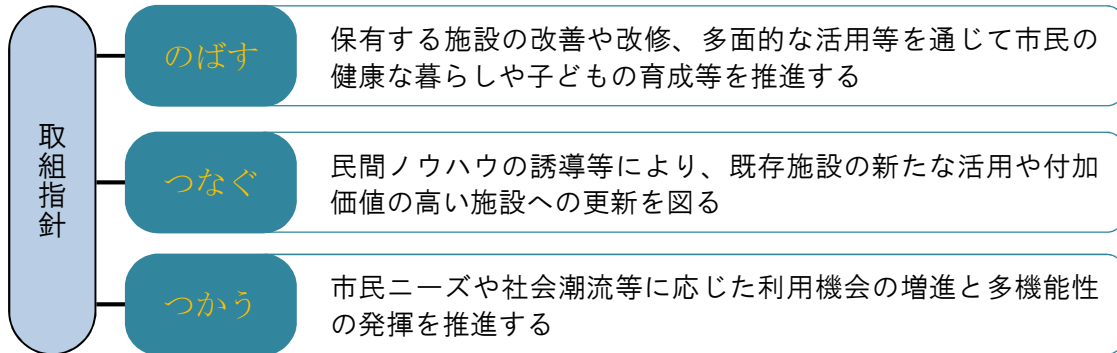
2009 年に京都市が民間との連携による梅小路公園の整備方針を表明し、水族館（事業者：オリックス不動産）と鉄道博物館（事業者：西日本旅客鉄道）などが整備されました。

園内のレストラン事業者も民間から公募し、有料庭園の景観を生かした「公園ウェディング」を企画したオリックス水族館を代表とする 3 社のグループが選定され、運営時間を 22 時まで延長するなど柔軟な運営がされています。



### 3) 運動・レクリエーション機能 を活かすための取組指針と事業例

市内外から訪れる人々の多様な活動の場としての機能を活かすための事業内容について例示します。



#### 運動・レクリエーション機能を活かす事業例

##### ソフト事業

###### 【四季を通じた利用促進プログラム】

市民が利用できるイベントの実施等により、四季を通じた公園の活用促進

例) ウィンタースポーツイベント（雪合戦、スキーなど）の実施



##### ハード事業

###### 【市民の活動・レクリエーションを支える場づくり】

既存施設の付加価値の高い活用を生み出す機能向上と柔軟な活用の推進

例) 老朽化した大型施設の更新、屋内施設の充実など



©ボーンランドプレイヴィル天王寺公園



●事例紹介 プレイヴィル天王寺公園（大阪市／天王寺公園エントランスエリア）

天王寺公園内のエントランスエリア約2.5haの改修及び管理運営事業について、「天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業」のパークマネジメント事業者を大阪市が募集し、近鉄不動産株式会社が選定されました。

芝生広場の周囲にはカフェ、レストラン、コンビニエンスストア、フットサルコート、外国客向けゲストハウス、観光案内所・バス待合所などが並びます。有料でこどもが遊べる「プレイヴィル天王寺公園（運営：ボーネルンド）」もあり、様々なレクリエーションの場として公園が利用されています。



©ボーネルンドプレイヴィル天王寺公園

●事例紹介 名城公園『tonarino』（名古屋市／名城公園北園）

名古屋市が「名古屋市公園経営基本方針」に基づき、民設民営にて整備を進めるべく営業施設等の事業提案者を公募、中部土木(株)等3社で構成される事業者が選定されました。

“名城コミュニティサポートパーク”というコンセプトのもと、公園利用者と共に育みながら成長することを目指し、公園の環境を活かしたラン・サイクルステーションなど以下の事業が展開されています。

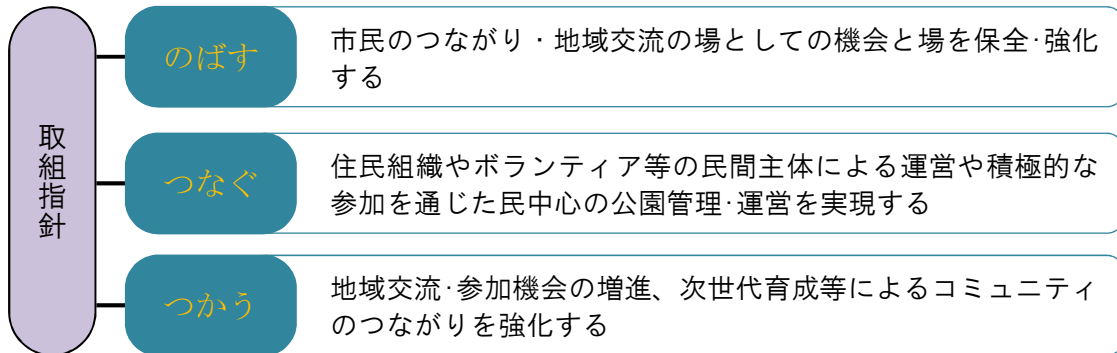


©藤井浩司/ナカサアンドパートナーズ

飲食施設：カフェ・レストラン      ／      物販：スポーツショップなど  
スポーツサービス施設：ラン・サイクルステーション      ／      駐車場

#### 4) コミュニティ機能 を活かすための取組指針と事業例

地域住民の交流の場としての機能を活かすための事業内容について例示します。



#### コミュニティ機能を活かす事業例

##### ソフト事業

##### 【機能に応じた市民交流の 促進プログラム】

安全・安心、健康づくり等、公園の機能に応じたコミュニティ交流を促進する

例) 防災イベントや防災ワークショップ、地域イベントとの連携など



##### ハード事業

##### 【コミュニティを醸成する場づくり】

市民が集う施設の機能強化や柔軟な活用の促進

例) 市民活動の場となる管理事務所等の機能強化



●事例紹介 しきしまナイトスクリーン（群馬県前橋市／県立敷島公園）

県立敷島公園では、指定管理者が自主事業の一環として補助陸上競技場を会場とした野外映画祭を毎年実施しています。映画の投影に併せて、地元の飲食店の出店もあり、例年多くの市民でにぎわっています。

指定管理者の敷島パークマネジメント JV（代表企業：(株)オリエンタルぐんま、構成企業：(株)オリエンタルコンサルタンツ）は、「公園をまちづくりの中心施設」として、多くの利用者が公園に訪れたいくなるような新しい取り組みを続けています。



●事例紹介 おうのやまガーデンクラブ（沖縄県那覇市／奥武山公園）

おうのやまガーデンクラブは、公園の管理運営に市民の声を反映させるため設立された任意団体であり、個人会員及び法人会員からの会費収入や寄付金により運営されています。

ガーデニングを主テーマとして、公園の植栽や花壇、水辺などの魅力向上に向けた取り組みや、植栽や水辺の管理、緑や自然に関するイベントや講座の実施などの活動が行われています。



## ■ 4 官民連携事業に係る今後の進め方

公園の魅力向上や持続的な管理運営を実現するための方法の 1 つとして、公募設置管理制度（Park-PFI）等を活用した官民連携推進事業に取り組みます。なお、以下の進め方に沿って、事業を進めていきます。

### 公募設置管理制度（Park-PFI）・設置管理許可制度の活用について

#### ○事業の実現可能性の検討

利用者ニーズ等の把握、サウンディング型市場調査（事業者ニーズ等の把握）、個別公園ごとの管理運営方針等により、公園の魅力向上や持続可能性に資する事業の可能性を検討します。

#### ○事業内容の検討

前段の検討で得られた結果を踏まえて、事業手法や事業内容の具体化を進めるとともに、地元説明や意見収集などを行います。こうした流れの中で、公募条件を精査し決定します。なお、公募条件を検討する際には、公園の特性にあった内容とし、憩いと賑わいが両立できるよう配慮します。

また、事業規模や既存の公園利用に与える影響の程度などに応じて、地元説明や意見収集の方法、公表の方法などを調整します。

#### ○事業提案の決定

事業提案を公募する際には、個別方針を活用し、有効な提案が得られるよう民間事業者を促します。また、事業の選定にあたっては、有識者等から構成された選定委員会を設置し、審査の上で優秀事業提案（事業者）を決定します。その結果は広く公表します。

#### ○協定・設計・工事

事業者との協定締結、詳細な施設設計の調整、工事監理などの上で、供用開始を目指します。

### 上記以外の手法の活用について

他都市では、公募設置管理制度以外の様々な手法を活用している事例も見受けられます（たとえば、PFI 法に基づく PFI 事業、ネーミングライツ、指定管理者制度の活用など）。必要に応じてこうした方法に係る調査検討も進めます。

● 民間活力導入を検討する際の留意点

民間の資金・ノウハウの導入を検討する際には、集客機能と既存の公園機能の調和を図り、憩いと賑わいが両立するよう留意することとします。

**公園の憩いと賑わいの両立を図り、持続可能な管理運営を行う**



憩いの空間

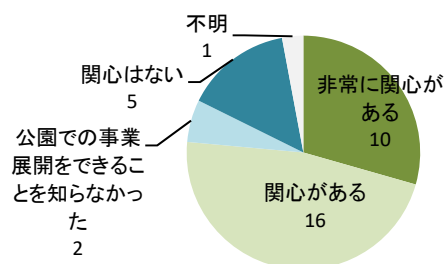


にぎわいの空間

(参考) 札幌市主要公園における民間企業等の事業展開に関するアンケート調査結果概要

調査概要 調査方法：アンケート調査（郵送配布・回収方式）  
調査期間：平成 29 年 8 月 24 日（木）～9 月 1 日（金）  
調査対象：都市公園事業と親和性の高い業種から計 106 社を抽出  
有効回答数 34 サンプル（回収率 32.1%）

○札幌市の都市公園での事業展開への関心（N=34）



○具体的に事業展開を検討してみたいと思う主要公園（n=29）

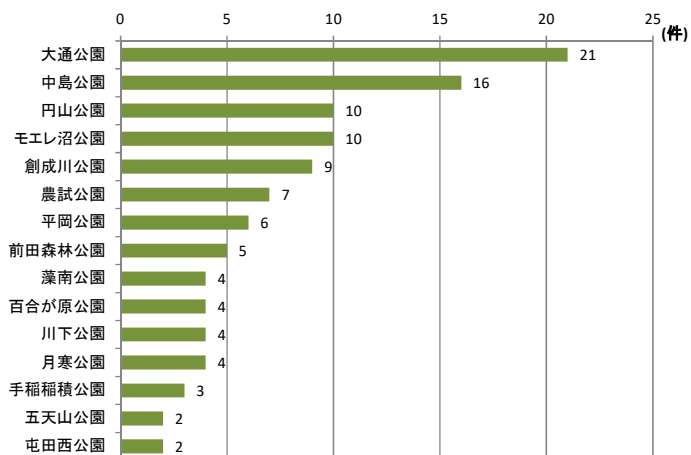


表 事業展開をしてみたい主要公園（MA, n=29）／業種別

| 主要公園<br>業種    | 企業数 | 大通 | 中島 | モエレ沼 | 円山 | 創成川 | 農試 | 平岡 | 前田森林 | 藻南 | 百合が原 | 川下 | 月寒 | 手稲稲積 | 五天山 | 屯田西 |
|---------------|-----|----|----|------|----|-----|----|----|------|----|------|----|----|------|-----|-----|
| カフェ、飲食関係      | 7   | 7  | 4  | 2    | 4  | 3   | 2  | 2  | 1    | 1  | 1    | 1  | 1  | 1    |     |     |
| コンビニエンスストア    | 2   | 2  | 2  | 1    | 1  |     |    | 1  |      |    |      |    | 1  |      |     |     |
| スポーツ・フィットネス関連 | 4   | 3  | 3  | 1    | 2  | 1   | 2  | 1  |      | 1  |      | 1  |    | 1    |     | 1   |
| まちづくり関連       | 2   | 2  | 1  |      |    | 1   |    |    |      |    |      |    |    |      |     |     |
| 商業施設・デパート     | 5   | 4  | 2  |      | 1  | 3   | 1  |    |      |    | 1    |    |    |      |     |     |
| アウトドア関連       | 2   |    |    | 2    |    |     |    |    | 1    |    |      | 1  |    |      |     |     |
| 造園・ガーデニング     | 1   |    |    | 1    | 1  |     | 1  | 1  | 1    | 1  | 1    | 1  | 1  | 1    | 1   | 1   |
| ホテル           | 1   |    | 1  |      |    |     |    |    |      |    |      |    |    |      |     |     |
| イベント・ツアー      | 4   | 2  | 2  | 2    | 1  | 1   | 1  |    | 1    | 1  | 1    |    |    |      | 1   |     |
| 業種不明          | 1   | 1  | 1  | 1    |    |     |    | 1  | 1    |    |      |    | 1  |      |     |     |